





# 能登半島ルポ ②

## 激震の爪痕の中で

1月20日。石川県七尾から託された子どもたち市で避難所になっているのにおもちゃを届けるため小学校を訪ねた。避難所だ。「このみんなへ、と、「これはうれしい。暇を持って余している子どもたちが喜び」と言ってもらえた。

運 許可を得て、避難所の

税の減免などを伝える張「あの日のお礼です」や降雪時は危険度がさうり紙もある。屋外には給「3・11」の文字。避難に高くなりそうだ。

水車や仮設トイレのトしていた人が、「遠かったでしょ」と言つと、たり、応急修理がでな大阪や京都、三重などが「はい。遠かったです。かったりする人の車がパらの応援で、他自治体の互いに笑顔が生まれる。被災した地域同士の交流に心が温かくなった。

21日、七尾市から北上し、穴水町を経て珠洲市 山道で丹波市消防本部の救急車とすれ違い、驚

## 道路に地割れや陥落

## 危険家屋での生活も

中を見せてもらう。体育館には十数人の姿があった。段ボールベッドの上で毛布にくるまっている人。額に熱冷ましシートを貼り、せき込んでいる人もいる。ホワイトボードには、「隔離」の文字。インフルエンザなどがまん延しているという。

ちやで大変だけれど、応しくなる。10ほどにわ

たつて陥落している道も車。心強さを感じると同蓄積されたダメージもあつて約7600棟の家

に駆け付ける人たちに改屋のうち、約3000棟が全壊したという。

珠洲市に到着。震度6実と思えないような光景前、東日本大震災1カ月く、「こんな目に遭ってよかった」と

たつて散らばる家々の残帳簿やパソコンが倒壊した事務所の中にあり、経声が出た。「みんな言っ

るに、国は裏金問福島のようになつてた可能性があるんだからね」

怒りに震えていた。同市を訪れたのは、発災直後に現地入りし、支援活動に取り組んでいる丹波篠山市京町の岩下八た。「2分くらいは揺れ

ためだ(後日詳報)。岩下さんと、地面がふわふわとバさん、避難所から自宅に戻り、不自由な生活を



市街地の道路は倒壊した家の残骸でふさがれている場所も=石川県珠洲市で



数多くの民家や電柱が倒れたままになっているまち=石川県珠洲市で

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

「なんでも相談所」や、石市から駆け付けたボラセルとブレーキを操作する

民間車検工場 ☆スタッフ募集!

落した道路など、地震の1の、発災から1カ月たつる間だけだが、住んでい

午前10-11時



Aが直営する県内最後のAコープだった。店舗跡

今月27日で閉店するAコープハートピア(写真上)とAコープ後川店(写真下)は、丹波篠山市

22日の今田中まで。同米は、農薬や化学肥

### 能登半島ルポ ③

## 激震の爪痕の中で

激震と津波に襲われ、中部、関西電力各社が開発を計画している。反対 2003年に開発計画は凍結されている。

石川県珠洲市。地元男性の立場に立った男性に、賛成派と反対派で原子力発電所を造る計画があったことを聞かされた。

1975年以降、北陸、たな。選挙も巻き込んで調べてみると、確かに隊が出てきたこともあった。



地震の影響で地面から隆起したマンホール=石川県輪島市で

ある障がいのある人の多、「殺される」と叫び、利用者の中にも金沢機能型事業所「さざなみ」を訪問。こちら山崎さんは、落ち着き、事業所としての存続を危惧する。12月分の請丹波篠山市京町の岩下八に付き添った。災害時、求がでなかつたし、1司さん(74)が支援物資を届けるなどして、つな

山崎伸一さんや、施設長か対応を」と断られた。の坂井千鶴子さんから話珠洲市では福祉避難所はだけだなく生業も直撃しを聞くことができた。災開設できていなかった。

## 避難所に響く叫び声

東日本大震災に端を発した福島原発事故は、今も尾を引いている。歴史に「もし」はないが、「珠洲原発」があったと考えると、今回の地震でどうなっていたか。

恥ずかしながら裏側にある歴史は現場に来るまで知らなかつた。改めて背景を知ることの重要性を学んだ。

1月21日夕、珠洲市にかみ、「私のだ」と言っ

## 地盤隆起で消えた海

避難所となる福祉施設を尋ねるためだ。地震後、小学校に避難した山崎さんによると、避難者の中に認知症の人がおり、平時と異なる状況にパニックを起こす

「せん妄」を発症。避難している人のかばんをつき彫りになった。また、坂井さんによる



地震による地盤の隆起で海底が露出している=石川県輪島市で

い者支援施設「あぎし」を訪問するためだ。輪島への道のりはひたすら山道。途中、何度も斜面が崩落している現場を屈した。

斜度が崩落している現場を屈した。また、同施設ではアレ

「あぎし」に近い。利用者を守らないといけな

22日早朝、輪島市に向かう。同市門前町にあ

「あぎし」に近い。利用者を守らないといけな

入れて、人生を謳歌し上げた。利用者からは拍手が

川さゆりさんの「能登半島」などを歌い上げた。

門前町は、名の通り、島」などを歌い上げた。

かつての曹洞宗大本山「総持寺祖院」の門前町

並みが残る。海辺の黒島「また来てね」と喜びの

地区は、北前船など海運業の拠点として発展し、

丹波篠山市の城下町や福住地区と同じく重要伝統的建造物群保存地区に指

定されている。そんな町い」と涙を流した。

のあちこちで民家が倒壊した。

事前に「あぎし」からは、食料が弁当やインス

タント食品ばかりで、生鮮食品が不足していると

聞いており、丹波篠山市の農家に協力してもら

す。また、同施設ではアレ

「あぎし」に近い。利用者を守らないといけな

22日早朝、輪島市に向かう。同市門前町にあ

「あぎし」に近い。利用者を守らないといけな



# 能登半島ルポ ④

## 激震の爪痕の中で

1月22日午後、石川県 垂直に立っている」とい  
 輪島市の中心市街地に う常識が通用せず、目か  
 入った。道の両脇には倒 ら飛び込む情報に強烈な  
 壊したり、1階が押し潰 違和感を覚えた。交差点  
 されたりした家がどこま 機を果たしているの  
 でも続く。丘の上にある 機能に、今にも倒れそなほ  
 住宅地からは、斜面を滑 るに傾いている。  
 り落ちてきそうな角度で 家が崩れている。「家は



大規模な火災が発生した朝市通り＝石川県輪島市で

「引き抜かれた」ためとれた危機を乗り越え、  
 言われているが、マン 人々の生活としての市か  
 ホール以上に理解しがた 観光の市へと変化  
 い。倒れたビルのそばを し、輪島塗と並んで能登  
 人が歩く姿は空想の世界 半島の一大観光拠点と  
 のようだった。 分がいた。同じ時、同じ

そして「朝市通り」は初めて。「いつか行っ  
 火災により、約240棟 てみたい」と思いなが  
 が焼け、4万9000平ら、活気と笑顔にあふれ  
 方々が焼失した。写真で る朝市をこの目で見るこ  
 見た爆撃を受けた町や関 となく、焼け野原になっ  
 東大震災後の東京、そし た姿としてしか出合えな  
 て、東日本大震災で壊滅 かったことが悔しい。寂 今回、現地を感じた

## 少ないボランティア

## 「自粛ムード」に疑問

ばらばらになり、どろどろの液体のような状態になる。水や土が地面から噴き出し、空洞になって

いる物などは浮き上がる。頭では分かっているも、目の前の光景は「異様」としか言いようがなかった。

つは、ボランティアの少なさは、東日本大震災や熊本地震、茨城や岡山の水害など、さまざまな被災地を訪れてきたが、い

「道路が渋滞するから控えて」ではなく、「公の活動を補完するために方難を排して来てくださな」と言っべきだった。中、現地で汗を流す

さうに異様さが際立ったのが、根元から真横に倒れた7階建てのビル。これはビルの基礎の下に打たれた杭が、垂直方向に働いた強烈な振動で

朝市は1300年の歴史があり、幾度となく訪

自衛隊や消防、警察などの公的機関、水道やガス、電気、道路などのインフラ関係者は多く、最

理由には、緊急車両を優先するために発せられた「来ないで」というメッセージや、移動や宿泊などの受け入れ体制が整っていないこと。確かに希望する学生が、SNS



倒壊した7階建てのビル＝石川県輪島市で

「自粛ムード」に疑問 自粛ムードの中、活動できない人ならば行くべき時代になったと思っ